

♪ 2018年度 **poco a poco** ♪

Nr. 16 2018年11月26日(月) 文責: プファイル・辰巳

いよいよアドヴェント(待降節)

ドイツでは11月が「お墓参り」の月です。亡くなった方のことを思い、お墓をきれいにし、アドヴェントを迎えます。

今週末はいよいよ、第1アドヴェント。各地のヴァイナハツ・マルクトも始まりますね。暗い冬もアドヴェントやクリスマスの一連の行事やマルクトがあるので、楽しく過ごせませうね。

音楽の授業でも、小学部ではクリスマス集会に向けて「もみの木」の歌を全学年で練習しています。夏でも冬でも緑の葉っぱをつけている常緑樹「もみの木」のように、みなさんも冬の寒さに負けず元気に過ごしましょう！



2学期のミニコンサートの申し込み締め切りは、
明後日、11月28日(水)です！
申し込みは早めに済ませましょう！

音楽鑑賞会 感想文より

鑑賞会の感想文集、第2回目は小学部
高学年の部です。ジャズ音楽の楽しさや
演奏家の颯爽とした姿に打たれた気持ち
が伝わってきます。

<小学部4年生>

ぼくは、コントラバスはすごいすごい低い音が出るとは思っていたけど、予想とぜんぜんちがったので、びっくりしました。コントラバスはこんなに大きんだ、と思いました。

ドラムスは、シンバルとたいこ、合わせて9種類くらいあって、シモン・ツィンバルドーさんが、すべてしっかり区別してたたいていたので、びっくりし

ました。曲は、ため息が出るくらいすてきでした。ぼくは、全部の楽器が気に入りました。

ドラムとコントラバスがすごかった。ドラムはシャカシャカという音を出していた。コントラバスはとてもひくい音だった。ポニョやトトロ、君をのせて、散歩がすごかった。ジャズはとてもかっこよくて、いろんな音を出していて、とてもきれいでした。ドイツの曲もきれいでした。

私は、知っていた曲でも、ジャズ風にアレンジして聞くと、全然ちがうぶん
困気になっておどろきました。私が気に入った楽器は、ドラムスです。1つの
楽器でたくさん音を出せるし、音もキレがよくて、かっこ良いと思ったからで
す。曲の中で、4つの楽器がまじる所が気に入りました。

<5年生>

4つの楽器を使ったえんそうは、すごく楽しい気分になりました。ジャズの
音楽はあまり聞いたことがなかったけれど、今回聞いてみて、ジャズの音楽が
すきになりました。4つの楽器の中でも、1番サックスの音がすきです。サク
スの音は低くて、安ていしていたからです。

さわやかな音で、ぼくが好きな楽器は、今日見えていてコントラバスがカッコ
イイと思いました。日本の歌をひけるなんてすごいと、心の中でびっくりしま
した。コントラバスの低い音が好きで、ぼくもいつかひいてみたいなと思いま
した。ドラムも好きです。リズムに合わせてたたくのが大好きです。あこがれ
ました。

コントラバスが、弓でひくのと指でひくので全然音が違って、びっくりしま
した。指でひくとボンボンボンという音が出て、とてもきれいな音でした。ド
ラムの所に、穴があいているのもびっくりしました。ドラムに穴があいている
事で、とてもきれいな音が出て、すごいなと思いました。

ピアノはふつうの音より悲しい音が出たり、きれいな音を出したりしていま
した。サックスはピアノよりも明るい音が出ていて、リズムのれるような感じ
でした。コントラバスはよく見ると、ボンボンボンという感じでひいていま
した。とても温かい音でした。ドラムはシャンシャンという音がしたり、ドンド
ンとかるくひいたりしていました。4つの楽器の音が組み合わさって、とても
きれいな音や明るい音が出て、すごかったです。

ジャズの音は聞いているだけで楽しくなりました。ドラムのたたき方によって、ふんいきがかわると思いました。ドラムとコントラバスが入ったり、ひき方を変えるだけで急に大人っぽくなりました。インタビューのところで分かったけど、小さいころから続けて練習すれば、それだけ実力があらわれるんだなということ、知ることができました。

知っている曲が知らない曲のようで、とてもおもしろかったです。わたしは、コントラバスが一番気に入りました。ひくい音がとてもきれいでした。ジャズの音楽は、ふつうの曲よりたくさん工夫がされていて、とても楽しくておもしろかったです。また聞きたいです。



合奏している人たち全員、合奏を楽しんでいて、すごく音楽が好きなんだなと思いました。車でよくジャズなどを聞いているけど、CDとかでジャズを聞くのと、本当に聞くのでは、まったくちがうなと思いました。

ぼくは、コントラバスやピアノ、サックス、ドラムの演奏者たちの指が、おどっているように見え、音を出しているのが楽しそうだなあと思いました。ジャズはねむくなりそうだけど、とても大人っぽかったです。知っている歌がすぐジャズふうになるのが、すごかったです。

<6年生>

ジャズは落ちついた感じの曲ではなくて、ポップな感じでした。私が知っていた曲は散歩だけでしたが、どの曲もえんそうしている人たちが、楽しそうに楽器をひいているのを見て、みんなも楽しそうに聞いていました。アンコールのときもトトロのときも、手びょうしをしていると、えんそうしている人たちも手びょうしをしていました。いろんな楽器があってすごく楽しかったです。

初めて本物のジャズを聞いた。けっこうぼくのこのみだな、と思った。眠くなるくらいとてもリラックスできた。また聞いてみたいと思った。ひとつひとつの楽器が個性的で、聞いていてあきなかった。

今回の音楽かん賞会は、とても耳に残る強いドラムと、聞いていてこち良くなるコントラバスとピアノフォルテがあって、ジャズって面白いなと思いました。ジャズはすごくリラックスが出来て、さすがプロだと思いました。歌のアレンジが、原型が分かりつつも、アレンジしていることが伝わるのがいいと思いました。また聞きたいと心から思えた良い100分間でした。

私は近くでドラムを聞いたのは初めてだったので、すごく楽しかったです。知っている曲がジャズになると、けっこう変わるんだなと思いました。コントラバス、サックス、ピアノ、ドラムセットの音がいっしょになると、すごくきれいでした。またジャズを聞けたらいいなと思いました。すごくかっこよかったので、「ジャズ」というジャンルにもたくさんふれてみたいです。

ジャズの歌はレストランなどで聞いたことがあるけど、生で聞くのは初めてで楽しかったです。一番おもしろかった曲は、「君をのせて」でう。この曲はどちらかというと低い曲で、心に響きます。夏からという短い期間で、こんなにもすてきな曲を弾いてくれた演奏者のみなさん、ありがとうございました。

ジャズにすると知っている曲が変わるんだと知りました。私はサックスの人のふき方がすごいと思いました。息をついてたくさん吹いていたからです。ジャズを目の前で聞くのが初めてだったので、印象に残りました。

ほんのちょっとだけ 演奏会情報

12月2日(日) St.Katharinen 教会 (ハウプトヴァッハ) にて
18時から ヴァイオリン、チェロ、パイプオルガンによる
アドヴェントの音楽

アドヴェントの毎週末(土曜と日曜) 17時から
アルテ・ニコライ教会(レーマー広場) にて
アドヴェントの音楽礼拝